

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域に出掛ける事はあっても、立地条件もある為、地域との交流が少なく、もっと地域の方が気軽に来てもらえる開けた施設でありたい。	地域交流が深まる。 地域に出掛ける事も続けながら、先ず、地元地域の方に気軽に来てもらえる施設を目指す。	①毎月手作りおやつに合わせて、地域の方にも声を掛け一緒におやつを作ってお茶会を開催する。 ②公民館や自治会長にお願いをし、手作りチラシを配布し、回覧板などで開催案内をする。 ③希望があれば、送迎をする。	6ヶ月
2	34	毎年、救急法やホーム内での急変時や事故発生時の対応について研修の機会を設けているが、実際に起きた時の対応に不安を感じている。	職員一人一人が利用者の急変や事故発生時の応急処置や対応等の実践力が身に付けられる。	①ホーム内研修を開催し、応急処置や初期対応の知識を深めるとともに実際に訓練として急変や事故が発生した際の一連の動きを試みる。 ②定期的に職員の意思確認を行い、不安があるようであれば緊急時の対応についての研修を再度開催する。	12ヶ月
3	36	洗濯場、洗面所と脱衣場が共有空間であり、脱衣場として使用している時は衝立でプライバシー確保をしているものの、他者の出入りが多い為、気になる利用者もおられプライバシー確保が不十分である。	利用者が周りを気にせず入浴出来るようになり、プライバシーが保てるようになる。	①入浴に使用する際には脱衣場と洗面所が完全に区切る事が出来るように防災カーテンを取り付ける。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。